核燃料サイクル技術をつなぐ架け橋

JNFL × JAEA

連携協力の歩みと現在

JNFLとJAEAは、国内核燃料サイクルの実現に向け、再処理、MOX燃料加工などの技術分野で長年にわたり協力を積み重ねてきました。
そして現在、その技術・経験を次世代へつなぎ、六ヶ所再処理工場のしゅん工準備と安定操業を支えるため、技術助勢と技術者の相互派遣による連携を進めています。

JNFL × JAEA　技術協力の歩み

1982~ 再処理
再処理施設の建設、運転等に関する技術協力基本協定
*(S57.06.07*締結*)*
研修に関する協定
(S63.03.31締結*)*

1995 ウラン濃縮
ウラン濃縮技術の移転に関する基本協定
(H7.3.31締結⇒終了)

2000~ MOX燃料加工
MOX燃料加工施設の建設、運転等に関する技術協力協定
(H12.12.27締結)

2005~ 環境保全
環境保全技術に関する技術協力協定
(H17.3.9締結)

2009~ 研究協力
研究協力協定(ガラス溶融炉,抽出剤処理法,水素発生評価等)
(H21.4.16締結)

2025~ 新たな連携ステージへ
六ヶ所再処理工場における
しゅん工前動作確認等に係る
技術助勢及び再処理技術維持・向上のための技術者の相互派遣に関する覚書
(R07.11.12締結)

技術移転・技術協力から技術継承・研究協力へ

技術協力の主な内容

再処理
- 建設・運転等に関する技術協力
- 試運転支援
- 放射線管理支援
- 技術情報の共有

ウラン濃縮
- ウラン濃縮技術の移転
- 建設・運転・技術開発に関する協力

MOX燃料加工
- MOX燃料加工施設の建設・運転等
- MOX技術研修

環境保全
- 核物質管理
- 放射線管理
- 環境保全技術
- 放射性物質の処分に関する協力

研究協力
- ガラス溶融基盤データ整備
- 実廃液水素発生量評価

人材派遣　―技術協力の最前線には、「人」がいる―



中村仁宣
理事 安全・品質本部
副本部長（核物質管理）
核セキュリティ・保障措置

全社における核セキュリティ及び保障措置に関し、トラブルゼロや安定操業を実現するために必要な内部統制機能の改善及び人材確保・育成に係る統括業務を実施。

人材派遣
- R8年度
  ５名派遣中
- これまでに
  約500名の
  JAEA職員を派遣し
  約1000名の
  JNFL技術者を受入

技術をつなぐ。経験をつなぐ。人をつなぐ。

日本原燃の現場力

核燃料サイクルの未来へ

原子力機構の研究開発力